

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	6.1	-6.8
② 銀座店	6.6	-6.9
③ 浅草店	0.0	-6.6

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
銀座本店	-12.6	-26.3	-26.7	-43.8	-13.5	44.4	575.3	421.4	4.7	8.6	-5.7	6.1
松屋銀座	-13.2	-28.6	-27.8	-45.7	-14.3	43.4	573.2	361.8	2.8	8.9	-8.5	6.6
松屋浅草	-3.7	2.8	-12.2	-13.6	-1.9	57.2	600.4	*	24.3	5.1	26.5	0.0

* 前年(2020年)は、第1回目の緊急事態宣言の発出により、5月一ヶ月間ほぼ全館で休業いたしました(外商等の一部は営業継続)。

3. 店舗別商況

銀座店	9月の銀座店は、月末まで緊急事態宣言が延長となったことで来街者・入店客数の減少等が懸念された一方で、売上高は前年に対して約6%増となりました。月中旬に、ハウスカードホルダー等の顧客様に向けた「秋の松美会・感謝祭」を2日間開催し、売上高は前年比1.6倍の12億円超となりました。また、引き続き、富裕層を中心に高品質の海外ラグジュアリーブランドへの強いニーズが継続しており、その売上高は約16%増と大幅な伸びを示しました。さらには、外商部門も金製品の特注等があり売上高が約5%伸び等、店頭と両輪となり売上を牽引しました。なお、都の要請を受け、混雑時には食品フロアや8階イベントスクエアの人流を抑えるべく入店制限を実施するも、これによる大きな売上高の減少等はほぼありませんでした。インバウンドの回復が見通せない状況が続く中、緊急事態宣言が解除となる10月以降は、秋冬物商材実売期へのアプローチ強化と、シーズンオケージョンを利用した各種施策を推し進めることで、幅広く来店促進を図っていくことが重要になると考えられます。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	0.6	0.6
婦人服・洋品	-2.0	-2.1
子供服・洋品	-10.9	-10.9
呉服寝具他	-2.3	-3.7
衣料品計	-1.8	-2.0
身廻り品	8.7	8.7
雑貨	29.2	34.2
家具	6.0	6.2
家電	20.9	21.8
家庭用品	23.3	23.4
家庭用品計	13.5	13.7
食料品	4.6	5.5
食堂・喫茶	-11.9	-12.3
サービス、その他	-15.9	-15.7
合計	6.1	6.6

※「2021年10月上速報」は、11/1(月)15時開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松 屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639